



老後資金を倍にする！ 60才から見つける

「終の天職」



●元フジテレビ吉崎典子アナ⁶¹「60才からでも遅くない」

●資格を生かしてマナー講師●67才で開業した医師

●趣味の歌舞伎でコラム執筆●夫婦で喫茶店オープン⁶²

人生100年時代、定年退職しても、物価も高騰しているのだから、生活をより豊かにするために働かなければもったいない。実際、「天職」を見つけ、人生を楽しんでいるオーバー60の人たちはたくさんいる。何も外で働くことだけがすべてではない。家で夫に内緒でできる「在宅副業」もある。年を重ねたからこそ、人生の経験を生かし楽しく効率よく稼いでみませんか。

現在も多くの企業で採用されている「60才定年制」。しかし平均寿命が延びたいま、特に女性はその年齢を超えても働き続けたいと考える人が大多数だ。

実際、キャリアデザインセンターが運営する転職サイト「女の転職type」のアンケートでは、回答者（女性749名）の約8割が「一生涯を含む60才以上も働きたい」と答えている。

令和5年版高齢社会白書を見ても、12年時点では57・7%だった60～64才の就業率は22年には73%になった。『ほんとうの定年後「小さな仕事」が日本社会を救う』の著者で、リクルートワークス研究所のアナリスト・坂本貴志さんが指摘する。

「少子高齢化で労働人口が減り続けるなか、60才を超えても仕事は見つけやすくなりました。とはいえ、この世代は

持ち家で子供が独立している人も多く、無理をしてフルタイムで働く必要はありません。つまり、60代からは心身に負担がかからず、かつやりたい仕事を選ぶことができる可能性があります。それが現役時代より高まるのです。そうした「天職」を見つければ、幸福感を得ながら定年後の家計をサポートできます」

60才を過ぎたらどう働けばいいのか、老後資金を倍にする